

スーパーマーケット景気動向調査

2024年8月調査結果（7月実績）
（2024年8月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

8月調査（7月実績）結果概況

景況感は現状、見通し判断共に小幅に悪化

7月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DIの現状判断は、前月から-3.3の45.2、見通し判断が前月から-2.3の42.9と共に前月に比べ小幅に悪化した。

経営動向調査では、売上高DI、収益DIは共に前月から大幅に下落し、マイナス域となった。生鮮品仕入原価DIと食品仕入原価DIは小幅に下落するも引き続き高水準を維持しているが、お客様の節約志向が続く中で土日が1日ずつ少なかった影響や、猛暑により昼間の時間帯に外出、買物を控える動きなどもあり、客単価DIはプラス幅を大幅に縮小、来客数DIが大幅なマイナスとなった。

カテゴリー動向調査では、DIが軒並み前月に比べ2ケタの下落となった。猛暑により飲料や涼味商材などが好調に推移したが、梅雨明けの遅れや豪雨の影響を受けた地域もみられた。（最終ページに詳細掲載）

景況感調査は、前月やや改善がみられたものの、今月は現状判断、見通し判断共に、前月から悪化し、方向感のない推移が続いている。（長期傾向はP11参照）

寄せられたコメントでは、物価高騰が長期化するなか、節約志向の高まりを指摘する声が一層多くなっており、6月の定額減税も効果は見られず消費意欲には程遠い。一方で、記録的な猛暑や豪雨などの気候変動による影響は年々大きくなっており、一次産業の生産や収穫も難易度が高まっている。商品の調達や物流なども含め、「食のライフライン」として求められる役割をスーパーマーケットが果たすため、産地や製配販の連携強化、お客様への日頃からの備蓄の呼びかけなどにも一層の取り組みが求められる。

景況感調査

現状判断

景気判断DI 当月：45.3 (-3.3) 前月：48.6	消費者購買意欲DI 当月：44.0 (-3.2) 前月：47.2	周辺地域 競合状況DI 当月：45.1 (-0.4) 前月：45.5	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：46.6 (-0.8) 前月：47.4
--	---	---	---

見通し判断

景気判断DI 当月：42.9 (-2.3) 前月：45.2	消費者購買意欲DI 当月：42.6 (-3.0) 前月：45.6	周辺地域 競合状況DI 当月：43.0 (-0.2) 前月：43.2	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：45.0 (-1.4) 前月：46.4
--	---	---	---

経営動向調査 経営状況

売上高DI 当月：-7.3 (-15.4) 前月：8.1	客単価DI 当月：4.4 (-6.7) 前月：11.1	来客数DI 当月：-10.0 (-10.6) 前月：0.6	
収益DI 当月：-7.5 (-12.9) 前月：5.4	販売価格DI 当月：16.8 (-2.0) 前月：18.8	生鮮品仕入原価DI 当月：15.6 (-2.6) 前月：18.2	食品仕入原価DI 当月：16.6 (-2.8) 前月：19.4

カテゴリー動向

青果DI 当月：-2.2 (-19.2) 前月：17.0	水産DI 当月：-7.0 (-13.3) 前月：6.3	畜産DI 当月：-14.2 (-13.3) 前月：-0.9	
惣菜DI 当月：5.1 (-8.2) 前月：13.3	日配DI 当月：-12.5 (-13.5) 前月：1.0	一般食品DI 当月：-4.1 (-17.2) 前月：13.1	非食品DI 当月：-10.9 (-6.2) 前月：-4.7

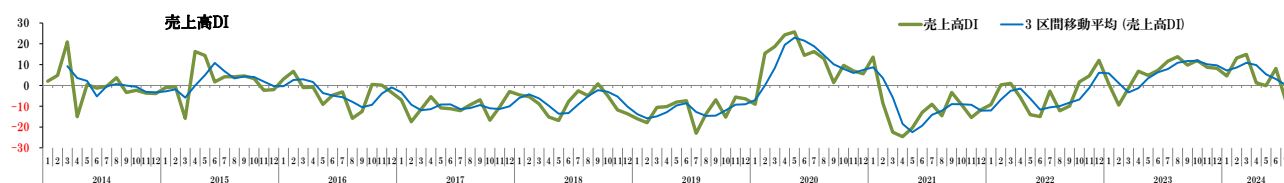
※DI値は前年同月との比較 / ()内は前月DIからの変化

結果詳細 I. 経営動向調査 (2014年1月～)

1. 売上高DI

前月から下落、マイナス域まで低下

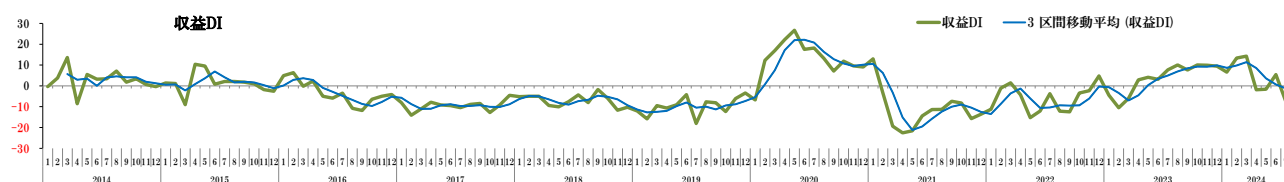
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	2.3	18.3	32.6	38.3	8.6	8.1
売上高 (当月)	11.7	33.1	29.2	24.7	1.3	-7.3



2. 収益DI

前月から下落、マイナス域まで低下

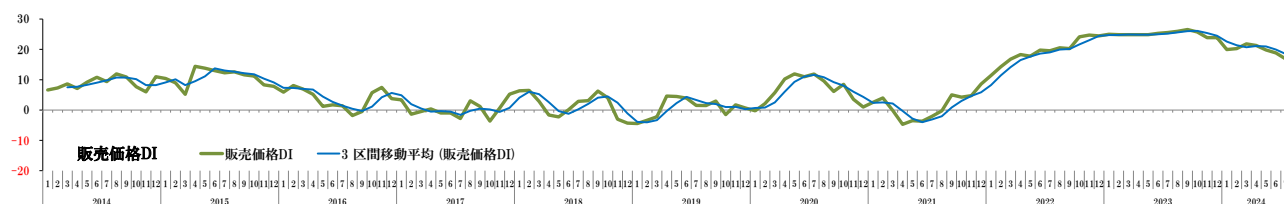
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	3.5	22.4	34.7	27.6	11.8	5.4
収益 (当月)	10.6	33.8	33.8	18.5	3.3	-7.5



3. 販売価格DI

前月から小幅に下落も、引き続き二桁プラスを維持

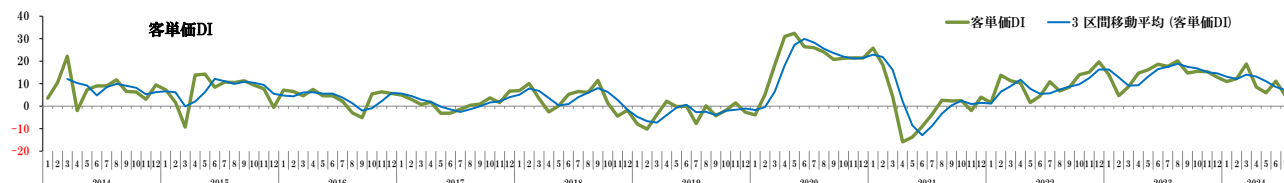
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	1.1	28.2	64.9	5.7	18.8
販売価格 (当月)	0.0	3.3	28.8	65.4	2.6	16.8



4. 客単価DI

前月から下落し、プラス幅を縮小

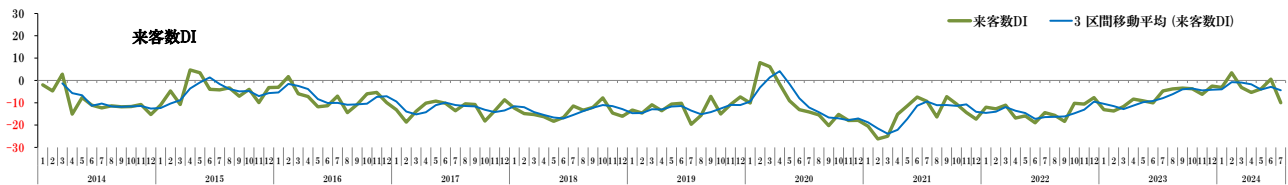
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.6	10.5	36.3	49.1	3.5	11.1
客単価 (当月)	2.6	18.2	39.0	39.6	0.6	4.4



5. 来客数 DI

前月から大きく下落、マイナス域に低下

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	2.3	25.7	41.5	28.1	2.3	0.6
来客数 (当月)	7.8	41.8	32.7	17.6	0.0	-10.0



6. 生鮮仕入原価 DI

前月から小幅に下落も、引き続き二桁プラス水準

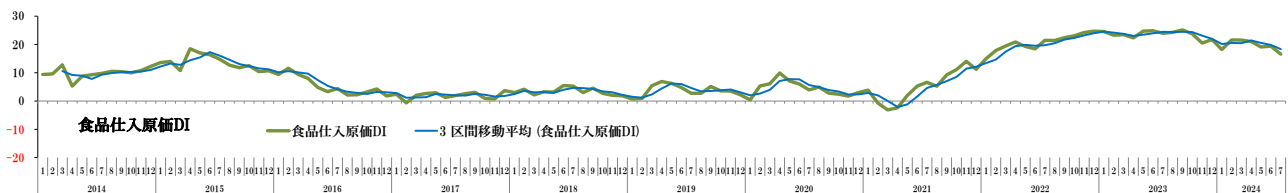
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	1.2	3.0	26.8	60.1	8.9	18.2
生鮮仕入原価 (当月)	2.0	6.0	25.5	60.4	6.0	15.6



7. 食品仕入原価 DI

前月から小幅に下落も、39か月連続プラス圏

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.6	3.6	21.8	65.5	8.5	19.4
食品仕入原価 (当月)	1.4	6.2	24.0	61.6	6.8	16.6

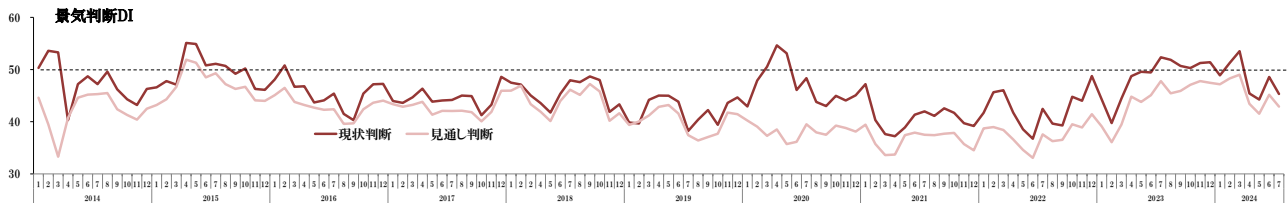


II. 景況感調査 (2014年4月～/周辺地域景況判断 2010年4月～)

1. 中核店舗景況判断 DI

現状判断、見通し判断共に悪化

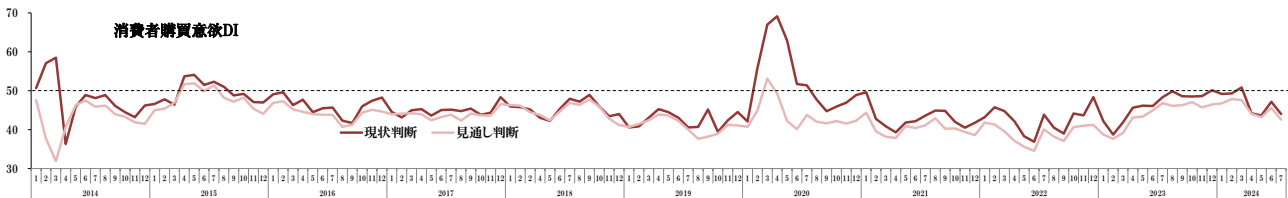
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	0.6	19.3	66.5	12.5	1.1	48.6
【現状】景況判断 (当月)	2.6	22.6	66.5	7.7	0.6	45.3
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	1.7	25.0	65.3	6.8	1.1	45.2
【見通し】景況判断 (当月)	0.6	34.8	57.4	6.5	0.6	42.9



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断共に悪化

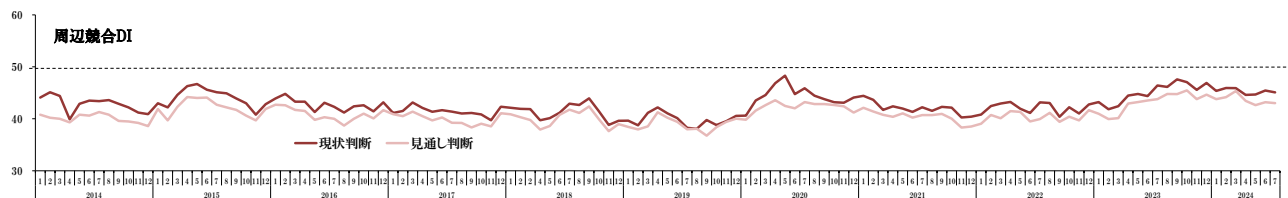
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.0	21.6	68.8	9.1	0.6	47.2
【現状】購買意欲 (当月)	2.6	25.8	65.2	5.8	0.6	44.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.0	25.6	67.0	6.8	0.6	45.6
【見通し】購買意欲 (当月)	0.0	36.1	58.1	5.2	0.6	42.6



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断、見通し判断共に横ばい

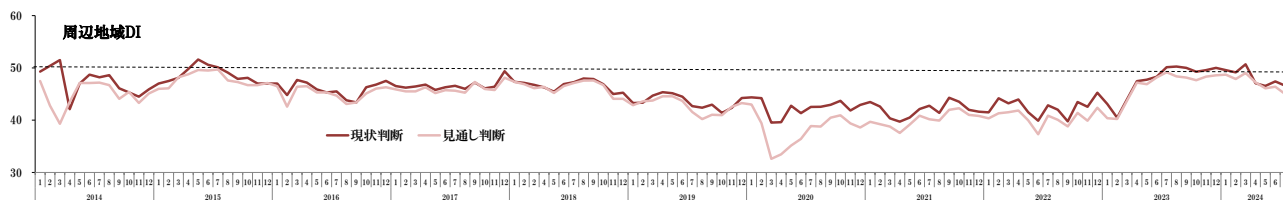
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	0.6	19.9	76.7	2.8	0.0	45.5
【現状】競合状況 (当月)	1.3	19.6	76.5	2.6	0.0	45.1
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	2.8	22.7	73.3	1.1	0.0	43.2
【見通し】競合状況 (当月)	2.6	24.7	70.8	1.9	0.0	43.0



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断、見通し判断共に小幅に悪化

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	14.4	81.6	4.0	0.0	47.4
【現状】地域景気(当月)	0.6	16.8	78.1	4.5	0.0	46.6
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.6	16.7	79.3	3.4	0.0	46.4
【見通し】地域景気(当月)	0.0	23.9	72.3	3.9	0.0	45.0

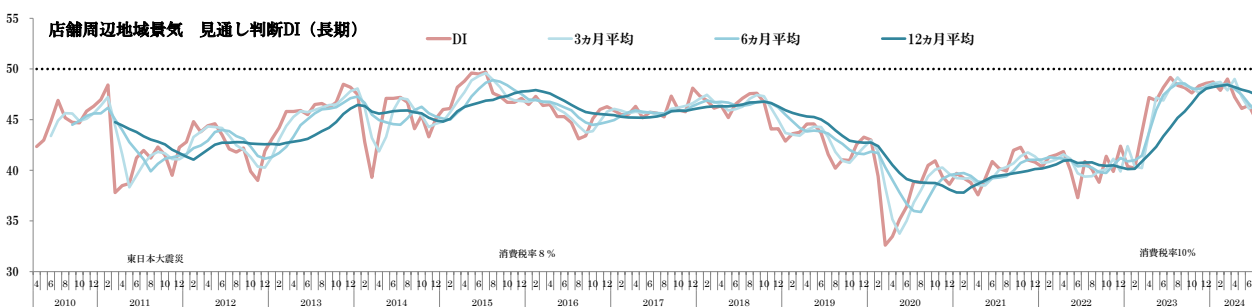
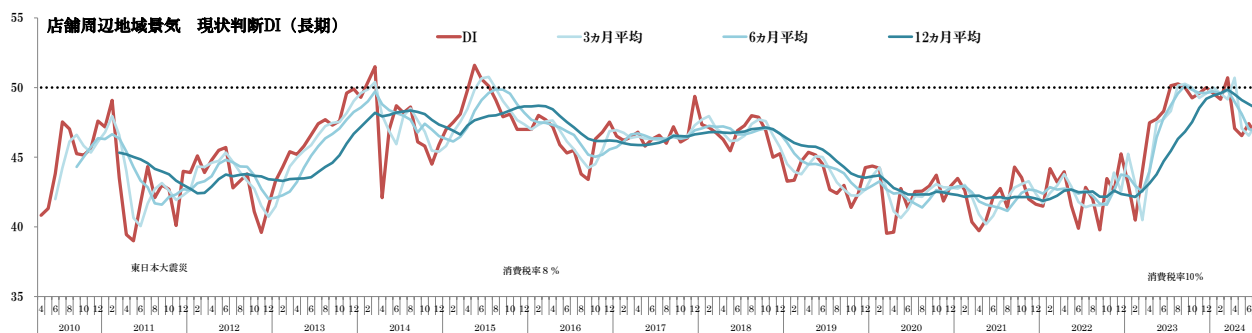


・中核店舗周辺地域景気判断DI 長期傾向(2010年4月～)

周辺地域景気判断DIは2011年3月の東日本大震災以降低迷を続けたが、12年11月から16ヵ月にわたる改善が続き、14年3月は現状判断DIが51.5を記録。14年4月の消費税率8%引き上げにより大幅に悪化するも徐々に持ち直し、2015年5月には現状判断DIは51.6に達し、調査開始以来の最高値を更新した。

しかし、その後15ヵ月間にわたり悪化傾向が続き16年9月には、現状判断DIは43.4まで低迷。以後方向感の乏しい推移が続いたが、18年の後半から悪化傾向が顕著となり、19年7月には現状判断DIは42.3まで低下。20年2月に大幅に悪化した、その後持ち直しの動きが続いた。

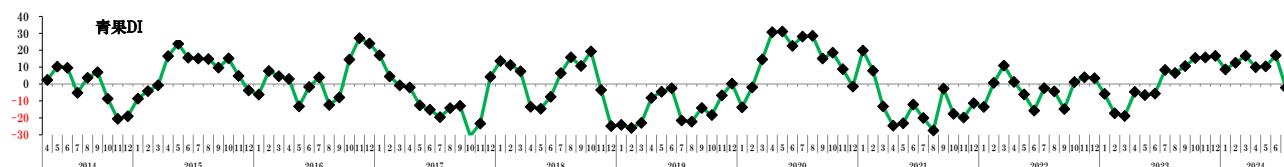
21年は、感染状況により上下に振られる動きが続いた。22年4月以降悪化が続き、6月にはすべての移動平均線が下向きへと変化、感染が再拡大した7月以降には一旦大幅な改善をみせた。23年3月以降は改善が続き、7月には判断の分かれ目である50を突破、その後も高水準を維持したものの24年4月に一転して大きく悪化し、その後は方向感のない推移が続いている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果 DI：-2.2（やや不調）

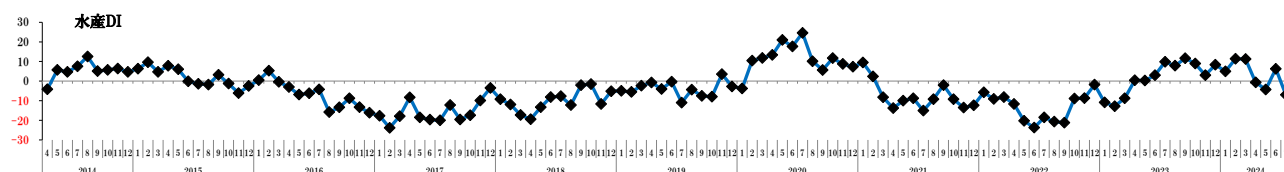
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	1.8	9.5	23.2	50.0	15.5	17.0
青果（当月）	11.4	24.2	28.9	32.9	2.7	-2.2



猛暑や天候不順により相場高の傾向で推移、一品単価が高水準にあるなか、土物、根菜類は好調となったが、キャベツや白菜などの葉物類はやや苦戦した店舗が多い。全国的には猛暑で推移したもの、前年比ではやや低くなった地域もあり、夏野菜やサラダ関連は好不調まちまちとなった。果実は国産、輸入共に生育不良の品目が多く相場高傾向。メロンやスイカなどを中心としたカットフルーツは概ね好調に推移するも、さくらんぼや桃は不調とした店舗が多い。キウイフルーツやバナナなどは比較的好調となった。

2. 水産 DI：-7.0（やや不調）

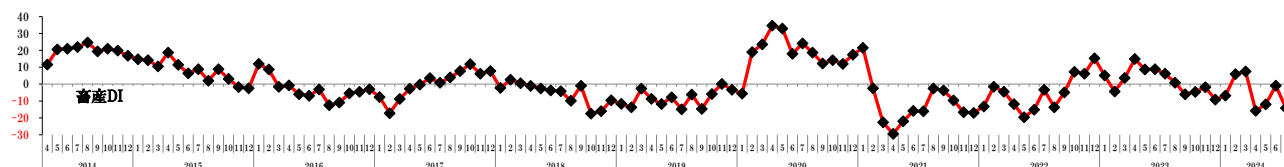
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	4.8	19.6	29.8	37.5	8.3	6.3
水産（当月）	10.9	32.0	33.3	21.8	2.0	-7.0



土日が1日ずつ少ない影響を受けやや不調となった。ウナギは、「土用の丑」が前年が日曜、今年水曜で懸念されたが、猛暑や単価上昇を追い風に好調の店舗が多く、月間を通じて販売に取り組んだ店舗が特に好調の様相。鮮魚は価格が安定しているマグロやカツオ、サーモンなどの魚種を中心に好調。猛暑で刺身や生寿司を敬遠する動きも。ちりめん類は不漁で価格が高騰、魚卵や干物も動きがよくなかった。一方でカニやエビ、などの冷凍水産品は価格高騰、不漁で入荷量の少ないイカは前月に続き不調となった。

3. 畜産 DI：-14.2（不調）

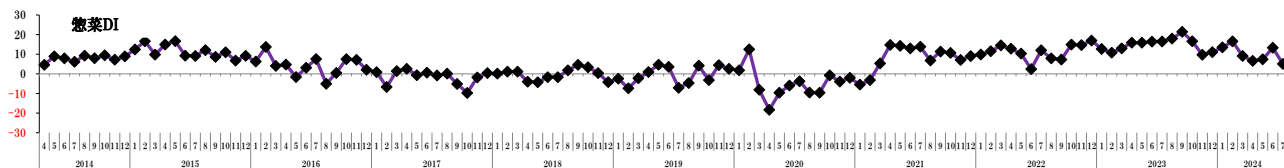
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	7.1	29.2	30.4	26.8	6.5	-0.9
畜産（当月）	14.9	43.9	26.4	12.8	2.0	-14.2



土日が1日ずつ少ない影響のほか、国産・輸入ともに相場高傾向で販促が組みにくく、牛肉や豚肉から、比較的値ごろ感のある鶏肉への需要シフト傾向が続いている。和牛など高単価商品は低迷が続き、ひき肉や小間切れなどの低価格商品の動きが顕著で単価が下落した。猛暑の影響で、バーベキュー、ステーキ、焼肉、冷しゃぶなどの商材は動きがよかったとのコメントもみられたが、梅雨明けの遅れ、豪雨による影響がみられた地域も。加工肉は全般的な価格上昇によって不調とする店舗が多い。

4. 惣菜DI：5.1（やや好調）

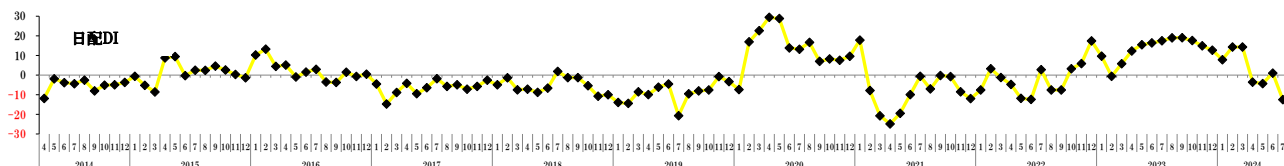
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	1.2	8.4	34.7	47.3	8.4	13.3
惣菜（当月）	6.8	14.9	36.5	35.1	6.8	5.1



猛暑の影響で、涼味系の冷やし麺類や夏を意識した惣菜、サラダ類が好調に推移。また自宅での調理を敬遠する指向により、特に天ぷらなど揚げ物類が好調となった。単価が上昇している米飯類、おかず類も引き続き好調だが、昼間の客数減少による影響を指摘するコメントもみられた。夕方以降はおつまみ類の動きがよい。土用の丑関連も順調に推移したとの声が多い。寿司は週末が一回少なく、猛暑で持ち帰り敬遠の動きもあり低調。

5. 日配DI：-12.5（不調）

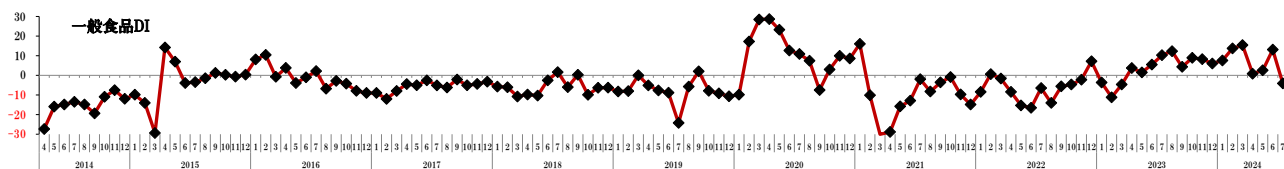
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	4.2	25.1	37.7	28.1	4.8	1.0
日配（当月）	12.3	39.0	35.6	12.3	0.7	-12.5



全般的に猛暑により夏物商材の販売は好調だが、週末が一回少ない影響のほか、値上げによる売上高増の効果が一巡し、牛乳・乳製品、パン類は堅調も単価伸び率に鈍化傾向がみられ、厳しい月となった。気温上昇によりアイス・氷菓や涼味麺などが好調。納豆や漬物など和日配は点数減の影響が大きい。卵は、前年から相場が落ち着き厳しい。乳酸菌飲料にも特需の落ち着きを指摘する店舗がみられる。

6. 一般食品：-4.1（やや不調）

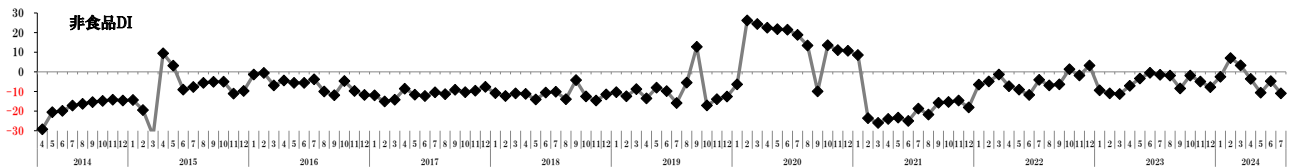
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	2.4	10.7	34.5	36.9	15.5	13.1
一般食品（当月）	8.9	30.1	32.9	24.7	3.4	-4.1



米類は単価がアップし大幅に伸長した。マスメディアによる供給不足報道も影響して欠品する店舗もみられ、特売の休止や点数制限などの対応を迫られた。レンジ米飯、レトルト米飯の需要も高まっている。猛暑の影響で飲料やビール類、乾麺やめんつゆ、焼肉関連商材の動きがよかった店舗が多かったが、梅雨明けの遅れ等により伸び悩んだ地域もみられた。調味料などは再値上げの影響で単価増が続き、点数が維持できている店舗では売上を確保した。酒税改正により新ジャンルの低迷を指摘するコメントもみられた。

7. 非食品 DI：-10.9（不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	10.3	28.5	36.4	19.4	5.5	-4.7
非食品（当月）	13.4	33.8	37.3	14.1	1.4	-10.9



気温の上昇により虫ケア用品や防虫剤、洗濯用の洗剤類、入浴関連などの動きがよかった。節約志向の高まりを受け、ラップやフリーザーバッグなどの保存用品が好調という声も。紙製品や、ペットフードは好不調の判断が分かれた。ドラッグストアやホームセンターなどの競合店との価格競争の厳しさを指摘するコメントが多くみられた。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～20 好調：20～10 やや好調：10～0
 やや不調：0～-10 不調：-10～-20 かなり不調：-20～

2024年8月調査（7月実績）キーワードTOP3

1. 土日が一回少ない影響
2. 猛暑の影響、天候不良と前年との気温差
3. 節約志向の高まり

（参考）2023年8月調査（7月実績）キーワードTOP3

1. 猛暑による季節商品好調
2. 価格改定による単価上昇
3. 食品需要堅調

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

7月実績速報版 162社
 6月実績確報版 178社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp